

事業所名

児童発達支援センター小鳩園

支援プログラム

作成日

R6

年

11月

29日

法人（事業所）理念		○療育機能の充実 ○切れ目ない一貫した相談支援 ○地域支援の強化 ○共に暮らしやすい地域社会を目指す					
支援方針		○心身の発達に援助が必要な子どもたちの早期発見と早期療育を担う。 ○保護者や家族がともに悩み、学び、たくましく歩いていくための支えの場となる。 ○関係機関や地域と連携を取り、より良い生活ができる支援を行う。 ○共に暮らしやすい地域社会を目指す。					
営業時間		8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支援のねらい			支援の内容		
本人支援	健康・生活	○生活習慣や生活リズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得			健康状態の把握、看護師による健康チェック、発達過程に合わせた心身状態の確認、日常生活（食事、着脱、排泄等）の援助、わかりやすいスケジュールの提示や生活しやすい環境の工夫		
	運動・感覚	○姿勢の保持・基本的動作の向上 ○感覚への働きかけ、感覚特性への対応 ○音楽との協調			運動遊び・感覚遊びを通して運動能力・感覚特性への支援（サーキット、粗大運動、手先の課題、感覚遊び、製作、体操、ふれあいなど）散歩等で自然と触れる、感覚過敏等に対する環境調整、楽器を使用しての音楽遊び		
	認知・行動	○認知特性についての理解と対応 ○わかる事、知っている事が増え適切な行動の習得			繰り返しや日常生活のシンプルな日課、視覚支援・模倣活動等わかりやすさに配慮した情報の提示や促し、小集団での気づきの促し、適切な見本、環境調節による不適切行動の予防と制限、体験による概念の獲得（数、大きさ、形、明るさ、速さなど）		
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○コミュニケーションの手段と選択 ○言葉の受容と表出、言語の形成と活用			コミュニケーションが取りたくなるような場面（嬉しい、楽しい、やりたい）の設定、日常生活に密着した場面でのコミュニケーション手段の獲得や促し、非言語コミュニケーションの働きかけ（身振り、指差し、絵カード利用など）、自発的なコミュニケーションの促し		
	人間関係 社会性	○信頼関係の形成 ○遊びを通じた社会性の促進			安心感（安全基地）を意識した働きかけと環境調整、模倣行動の支援、遊びを通じて他者への関わりの意識づけ、一人遊びから共同遊び・集団参加への支援、保育園交流（隣接園、地域園）との交流による社会参加支援		
家族支援		・専門的スタッフによる療育（心理、OT、ST、PT） ・保護者懇談会・保護者交流会（おしゃべりの会）・ペアレントトレーニング・個別懇談・支援会議・家族参観・弟妹の託児			移行支援		・保育園移行（併行利用、見学、調整、情報共有） ・就学のための移行支援（見学、調整、情報共有等）
地域支援・地域連携		・関係機関（保育園、学校、養護学校、保健師、医療、他事業所等）連携・保育園移行支援/隣接・地域保育園との交流/隣接園の分室利用 ・医療相談 ・成長ダイアリーの活用			職員の質の向上		・園内研修・市内保育園幼稚園職員による小鳩園一日職員体験研修・外部研修の参加
主な行事等		・隣接保育園交流（あそぼう会、隣接園内分室利用、合同運動会等） ・園外保育（遠足、市民プール、乗馬体験、お楽しみ会、そり遊びなど） ・公共施設の活用（電車、バス、図書館、支援センター、プラネタリウム等） ・歯科内科健診 ・避難訓練 ・不審者訓練 ・誕生日会、七夕、焼き芋、ハロウィン、餅つき、節分、クリスマス会、運動会					